

## 第6回 国税庁保有行政記録情報の整備に関する有識者検討会

### 議事要旨

日 時：令和8年3月2日（月） 10:30～11:30

場 所：Web 開催

出席委員：別紙のとおり

事務局から、配付資料に基づき説明。その後、以下のとおり委員から意見があった。

- ・ 現行の匿名データの見直しについて、事務局の匿名加工案に賛成である。安全性と有用性のバランスに配慮した有用な改善であり、データの利用可能性が高まる。
- ・ 今回の匿名データの見直しは問題ないが、今後データの粒度が細かくなっていくと、他のデータと突合された場合にプライバシーリスクが高まる可能性があるため、留意した方がよい。
- ・ 匿名データは匿名性の確保による制約から、高所得者層の分析が難しい場合があるため、オーダーメイド集計での提供を検討することも考えられる。
- ・ 匿名データのパネル化を検討する取組みには賛成である。試行提供を通じ意見をもらうことで、利便性の向上を図ってほしい。試行提供に当たっては、税務大学校の共同研究参加者に提供して意見をもらう方向で問題はないが、パネル化された個票データを用いた研究を既に行っている者からはあまり積極的に意見が出ない可能性がある。提供方法を税大施設内に限らず研究室での利用も可能とするなどの方途を検討する必要がある。
- ・ まず匿名データで可能な範囲の分析を行い、その上で高度な分析が必要な場合には税務大学校との共同研究に進むという、二段階で利用してもらうと良いのではないかと。なお、税務大学校との共同研究の審査においては、匿名データの事前利用を加点要素とすることも考えられる。

- ・ 他の機関においてもデータの提供に当たっては、CD-Rの利用やスタンドアロンのパソコンでの利用等により、技術的・物理的に措置を講ずるなど、セキュリティの確保には苦慮しているところ。オンライン環境に置かないということで使い勝手が悪くなるということはあるが、国税庁における匿名データ提供の議論においても、セキュリティの観点では引き続き慎重な検討が必要である。

以 上